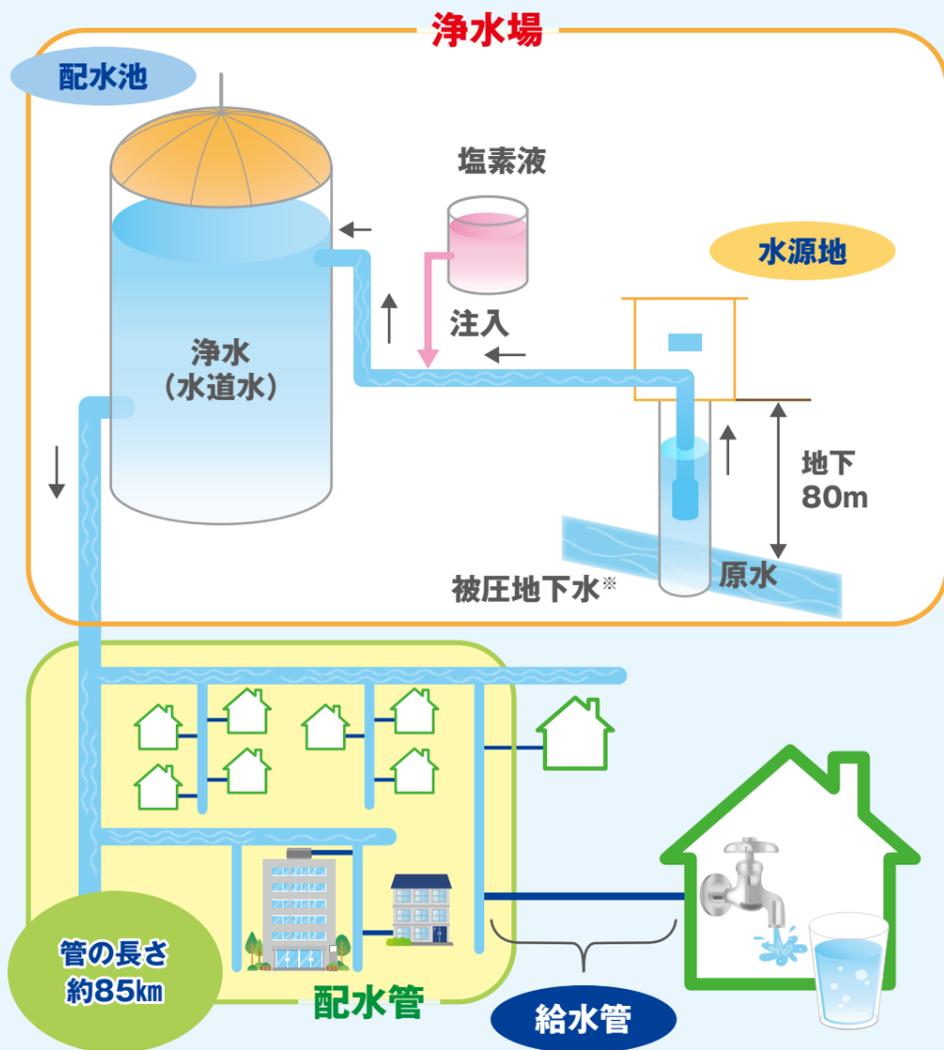


開成町の水道水が
家庭に届くまで



おいしさのヒミツ

開成町の水道水は、川などの地表を流れる水ではなく、地下深くから採られています。

足柄平野に位置する開成町は、丹沢山塊、箱根山系、富士山から流れてきた水が集まる、水資源の豊かな土地です。酒匂川の水は、横浜市や川崎市への貴重な水源になっています。

では、開成町の水道水はどこから来ているか知っていますか？ 蛇口をひねればすぐ飲むことのできる、開成町の水道水。

町の水道水のおいしさの秘密は、地下水にあります。町の水道水は、地下80mほどの深い層を流れる深層地下水を水源としています。

深層地下水は、山に降った雨や雪が約30年という長い年月をかけて染み込んだものです。地下に染み込む過程において、土壌がフィルターのように役割を果たし、不純物を取り除くとともに、炭酸やミネラル成分等が含まれるようになります。そのままでも水質が大変

良好となっているため、薬品は水道法で義務付けられている必要最低限の塩素を加え、浄化処理しているだけです。

このように深層地下水を利用する町の水道水は、市販のミネラルウォーターと変わらない安全でおいしい水となっています。



1 開成町の原水

町の水道水の元となる水「原水」は、100%地下水を使用しています。この地下水を6か所の水源地にあるポンプでくみ上げ、3か所の浄水場へ集め、そこから町内へ配水しています。



高台第一浄水場

2 原水を浄水へ

開成町の原水はきれいで不純物がほとんどなく直接飲むことができます。しかし、時間とともに劣化してしまうため、消毒効果のある塩素を入れ、長持ちさせる処理をします。消毒処理をした水を「浄水」と言い、この浄水をつくらしている施設が浄水場です。

3 水道水を家庭へ

浄水場で作られた水道水は、配水管を通じて家庭の近くまで運ばれます。この配水管は町中の道路の下に埋まっており、その総延長は85kmにもなります。こうして家庭の近くまで運ばれた水道水は、配水管から家庭の建物に繋がっている給水管により、皆さんに届きます。

※ 山や丘陵に降った雨が長い年月を経て浄化された地下水。また、上下二層の不透水層に挟まれ圧力がかかっているため、雨などの浸透水や土壌汚染の影響をほとんど受ない安全な水。